「ホストタウン」美郷町で研修

タイ王国の大学生が来町

7月19日、タイ王国カセサート大学の学生4名が美郷町を訪れ、美郷総合体育館リリオス・美郷町宿泊交流館ワクアスにおいてそれぞれの施設見学を行ったほか、美郷中学校での授業見学、町内湧水群の見学を行いました。

カセサート大学では海外研修が必修科目となっており、その一環として東京2020オリンピック競技大会のホストタウンである美郷町で研修が行われました。

“プーアン”がタイ王国代表選手を応援しました

ヨネックス秋田マスターズ2018 バドミントン選手権大会

秋田県内では初開催となるバドミントンの国際大会「ヨネックス秋田マスターズ2018バドミントン選手権大会」が7月24日から29日にかけて秋田市で開催されました。

この大会にはタイ王国代表選手も出場し、美郷町からは延べ67名の“プーアン”がタイ王国代表選手の応援に駆け付けました。

タイ王国ファンクラブ「プーアン」に加入しませんか？ ※プーアン(เพื่อน)とはタイ語で「友達」

東京2020オリンピック競技大会の事前合宿に参加するタイ王国代表選手への支援、選手との交流などの活動を予定しています。また、加入特典もご用意していますので、ぜひご加入ください。詳しい内容は広報美郷8月号3ページまたは町ホームページ(http://www.town.misato.akita.jp)でご確認ください。

問●町教育委員会　生涯学習課　スポーツ振興班　☎0187(84)4916

■講師を務めたBOBOさん(左)

タイ王国への理解を深める

JAL職員によるタイ文化講座

8月2日、美郷中学校でタイ文化講座が開催され、タイ王国ノンタブリー県への訪問を控えた生徒とその保護者などが参加しました。当日はJALタイ人キャビンアテンダントであるBOBOさんが講師を務め、タイ王国の食やマナーなど、日本の文化との違いについて講演されました。講座の終盤には質疑応答の時間が設けられ、参加した生徒たちは積極的にBOBOさんに質問し、タイ王国への理解を深めていました。

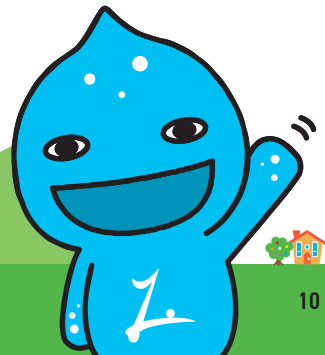
【BOBO(ボボ)さんが再来町!】 タイ文化講座の講師を務めたBOBOさんが8月16日から2日間の日程で再来町し、タイ人目線による町内施設の覆面調査を行いました。17日には調査結果を施設職員などへ報告したほか、8月下旬に来町するタイ王国ノンタブリー県の中学生のために、簡単なタイ語による案内表示も作成しました。BOBOさんからのアドバイスを基に、今後行われる事前合宿などに向けた準備を進めていきます。

色彩～夢見る美しさ～

美郷町成人式

8月15日、美郷町公民館で平成30年度美郷町成人式が行われ、美郷中学校を第1期生として卒業した171名が参加しました。

式典では新成人を代表して成田幸太郎さんが「成人式を迎えられるのは、私たちを支えてくださった両親や家族、指導してくださった先生方、温かく見守ってくださった町の皆さまのおかげです。この感謝の気持ちと新成人としての決意と責任を忘れず、向上心をもってまい進し続けることを誓います。」と謝辞を述べました。



第５回

タイ王国との交流

8月15日から20日にかけて美郷中学校の生徒がタイ王国ノンタブリー県を訪問し、現地の中学生と交流しました。今回は、交流が行われたノンタブリー県についてご紹介します。

■タイ王国ノンタブリー県とは?

・首都バンコクに隣接していて、バンコク首都圏(※)の一部となっています。
(※)東南アジアを代表する大都市圏の一つで、都や県を超えて国家的に都市政策が行われる地域です。
・人口は約123万人、面積は約623平方キロメートルとなっています。美郷町を基準に比較すると、人口は約60倍、面積は約4倍になります。

タイ王国ノンタブリー県ってどんなところだろう?

■パセオパークで開催された秋田フェアの様子

・東京ドーム約2個分の広さを誇るパセオパークという日本をテーマにしたショッピングモールが有名です。平成28年には秋田県産の野菜や果物、イベントなどをPRする「秋田フェア」が開催されました。

COLUMN WINDS
コラム
風

美郷町長
松田知己

清水まつりにて一般参加者とともに樽みこしを担ぐ松田町長

同調へのお願い

さてさて、本当に暑い夏でした。7月から連日の30℃超えは、私の記憶にはありません。みなさんの記憶にはいかがでしょうか。

また今夏は、約1世紀ぶりに別次元の「あつさ」もありました。高校野球です。甲子園での金足農業高校の活躍は、みなさんを熱くしてくれました。優勝は逃しましたが、第1回大会以来の準優勝。素晴らしいです。そしてこれも素晴らしかった。試合後の全力校歌。力一杯に歌う姿にしびれました。まさに「今を生きる」という姿勢を感じ、一生懸命さや一途さ、真剣さに心底感動した次第です。

「感動とは感じて動くと書くんだなあ」という相田みつをさんの作品があります。感じる部分の核心は、心の同調性にあると私は思いますが、今回、球児の一途さや真剣さに同調した自分に対し、「おっさんもまだ心の同調力はあるな」と確認した夏でもありました。

他方、こうした一生懸命さや真剣さが大切なことは、スポーツのみならずすべてに共通だろうと思います。美郷町において、公共施設再編や学校統合など大きな課題を解決できた核心には、課題を解決しようと一生懸命に取り組んだ職員等の真剣さに、町民みなさんが同調してくださったことも大きいと、私は認識しております。

そして、現在取り組んでいるのが除雪路線の見直しです。背景には、早朝除雪を規定時間の午前7時までに終了させたいという課題があります。道路拡幅や歩道整備の結果、除雪延長・面積は年々増加し、規定時間に終了できない日が生じております。除雪機械と作業員に限りがありますので、通勤・通学までに終えてほしいという要望にお応えするには、除雪路線の見直しが必要という結論です。

首都大学東京による町内調査も踏まえて検討し、休止路線の基準を定めました。該当する路線は既に関係みなさんに提示させていただいております。少しご不便をお掛けする方向の見直し検討ですが、課題解決に向けて同調してくださいますよう、お願いいたします。

これから食欲の秋を迎えます。誰しもが同調したくなるテーマですが、こちらへの同調はおなかと相談し、どうぞご慎重に(笑)。